



※「今月の表紙」はお休みします(表紙の詳細は4・5ページ)。

新そば祭



11月4日(日)に川俣温泉運動広場で、新そば祭が開催されました。今年、恒例のそばの早食い競争やそば打ち体験の他、栗山地域のそば店4店舗が初めて出店。紅葉が見ごろで連日報道されたことや、そば祭の記事が新聞に掲載されたこと、天候にも恵まれたことなどが重なり、予想を大幅に上回る人出となりました。午後の早い時間に各店とも売り切れ状態となり、急ぎよ会場ですばを打ち、その後も訪れる来場者に対応しました。

初出店した山水庵の山越さんは、「イベントに出店すること自体初めてで、分からないこともありましたが、新鮮な体験で楽しめました。自分の店で祭の宣伝をしていたせい、常連のお客さんも足を運んでくれました」と笑顔を見せられました。



11月1日(木)〜3日(土・祝)に、山内の二社一寺でライトアップ日光2012が開催されました。日光東照宮の五重塔や日光二荒山神社、日光山輪王寺の護摩堂などが闇の中で光に照らされ、訪れた人たちは幻想的な雰囲気、次々にカメラに収めていました。

また、1日は点灯式後に特設ステージで、県北部の復興支援コンサート「合唱・世界遺産〜ひろがれ!」が開催されました。ダ・カーポや三島中学校合唱部(那須塩原市)と一緒に出演した、地元は今市少年少女合唱団は、緊張した様子ながら見事な歌声を披露。南原小6年生の竹澤さんは「東照宮という有名な場所、お客さんも多くて緊張したけど、精一杯歌うことができて、良かったです」と感想を聞かせてくれました。

ライトアップ日光2012

れ! 日光のともしび」が行なわれました。ダ・カーポや三島中学校合唱部(那須塩原市)と一緒に出演した、地元は今市少年少女合唱団は、緊張した様子ながら見事な歌声を披露。



11月3日(土)〜4日(日)、川治温泉紅葉まつりが川治ふれあい公園をメイン会場に開催されました。日中は、バンド演奏や、川治温泉の特産品などが出店されました。さらに、色とりどりの紅葉をヘリコプターで空から眺める体験フライトも、川治小中学校跡地を発着場として行われました。

ん夫妻(東京都中野区)は、「とても気持ちよかったですね。そしてすごくきれいでした」「上から見た一面の紅葉は、とてもすばらしかったです。参加して良かったです」と、感動した様子で話してくれました。夜には、スターマインやナイアガラ、文字花火などの仕掛け花火が行われ、観光客の皆さんは昼夜にわたって、美しい川治の二日間を楽しんでいました。

川治温泉紅葉まつり



10月13日(土)に、日光運動公園で日光けっこうフェスティバルが開催されました。当日は天候に恵まれ、約2万3,000名が来場しました。会場では、日光下駄飛ばし選手権大会や、韓国伝統芸術演奏、健康増進に関するコーナーなど、さまざまなイベントが催され、来場者は思い思いに楽しんでいました。また、直径約2メートルの大鍋で作る関東

一芋煮会では、来場者に芋煮が振る舞われました。瀬尾在住の女性は、「広報紙を見てこのイベントに来ました。芋煮がおいしかったです」と笑顔で話してくれました。午後7時からは、大谷川河畔で秋の花火大会が行われました。音楽とともに、老舗花火屋「宗家花火鍵屋」の花火約2,500発が夜空を彩り、多くの観客がその美しさに見とれていました。

日光けっこうフェスティバル

一芋煮会では、来場者に芋煮が振る舞われました。瀬尾在住の女性は、「広報紙を見てこのイベントに来ました。芋煮がおいしかったです」と笑顔で話してくれました。

マロニエ・オートストーリー ミーティング 秋Meeting



10月14日(日)、宇都宮市のろまんちっく村をスタート・ゴールとし、足尾を折り返す自動車のイベント、マロニエオートストーリー秋Meetingが開催されました。

車を末永く楽しむ環境づくりと自動車文化で社会貢献を目指すマロニエ・オートストーリー・フォーラムが主催したもので、今年で4回目となります。

クラシックカーから最新モデルまで、県内外の自動車愛好家が自慢の車で参加。足尾地域の松木溪谷で植樹を体験後は、銅山観光駐車場へ移動し、休憩後ろまんちっく村へ向けて再出発しました。初めて参加した石川さん(木和田島)は「久しぶりに足尾へ来ました。イベントはほのぼのとした雰囲気、良いですね」と、笑顔を見せてくれました。



今市屋台まつり



10月21日(日)、今市中心市街地大通りで、今市屋台まつりが開催されました。この日は朝から好天に恵まれ、大勢の参加者や見物客でにぎわいました。地域に残る屋台が一堂に会して繰り広げられるまつりも、今年で4回目。精巧な彫刻が施された彫刻屋台6台と、もみじなどで彩られた花屋台4台が、通りを練り歩き、お囃子を競い合う「ぶつ

け」が披露されると、集まった観客から喝采が起きていました。春日町二丁目から参加した大嶋義広さんは、「祭りはやっぱり楽しいですね。当町の彫刻屋台は10年前に造られた古いものです。地域に残る貴重な文化財を後世に受け継いでいくためにも、ずっと続けていきたい行事ですね」と話してくれました。

